



西小だより

12月号

令和5年12月1日

◆今日は全員が1番になろう！◆

11月21日（火）、校内持久走大会が行われました。温かく穏やかな最高のコンディションの中、多くの保護者の皆様のご声援をいただき、児童一人ひとり、自分の全力を尽くして走りました。最後まで走りぬく児童の姿は本当にすてきでした。保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。

開会式で私は、「体育の時間や朝ランでたくさん練習してきましたが、その時と比べて、今日が1番がんばれたら、それは自分の中で1番ということです。学年で何番かは、関係ありません。『今日が自分の中で1番がんばったぞ!』と言えるように走ってください。」という話をしました。

持久走は、誰もがきついはずです。途中で「やめたいなあ」という気持ちになるものです。ただ、走り終わった後は「終わった」という安堵感というか達成感というか、何とも言えないようなさわやかな気持ちになります。参加した児童全員に「できれば完走して、そのような気持ちを味わってほしい。」という思いで見えていました。

結果、1年生から6年生まで参加した児童は、全員が完走することができました。よかったです。走り終わった後、晴れやかな素晴らしい児童の顔をたくさん見ることができました。「がんばった！これまでに1番がんばった！」という満足感を感じてくれた児童がたくさんいたのではないのでしょうか。この経験を次につなげてほしいと思います。

◆気持ちの見直しワンポイント◆

怒るのは「愛情から」ですが、でもその方法では伝わってないのかもしれない。子どもは叱ってもらえることを無意識に選んでしまうのです。そのような様子が見られたら、意識してスキンシップや会話、「ほめる」行為を増やしてみてください。関わりを増やしてください。子どもが驚くほど変わるはずですよ。

教師も親も、子育ては自分育てです。向き合うことでしか解決はできないのです。